

PRESS RELEASE



尚綱学院大学

Passion with Mission
熱い心、響かせる

リリース日: 2024年2月19日

尚綱学院大学地域連携センター公開シンポジウム 「社会人の学び直し～学び続ける私に～」のご案内

報道関係者の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学院の教育へご理解・ご協力いただき、誠にありがとうございます。

本シンポジウムは、変化の激しい時代を生き抜く実力を身に付け、東北の力となる人材を養成する本学が、社会的なテーマについて考える機会として、地域連携センター発足に伴い、今年度新たに実施するものです。

今年度は、昨今「リスキリング」や「アップスキリング」等、話題となっている「リカレント教育」全般としての「社会人の学び直し」をテーマとして、様々な形で実践されている3名の講師をお招きして行います。社会人の方で、学び直しを実践されている方のみならず、学び直しを検討している方を対象としています。

ご多忙の折恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

■尚綱学院大学地域連携センター公開シンポジウム「社会人の学び直し～学び続ける私に～」

【日時】2024年2月25日(日)13:30～16:30(開場 13:00)

【会場】仙台市中小企業活性化センター・セミナールーム(2)B (仙台市青葉区中央 1-3-1 AER6 階)

【対象】学び直しを検討している社会人等を中心に、職業・年齢・性別不問。

【定員】50名(応募多数の場合は抽選)

【参加費】無料

【講師】高谷 将宏 氏 (本学客員准教授、株式会社エヌエスシー 常務取締役)

高山 香織 氏 (本学客員講師、アナウンサー、ナレーター、司会、面接指導)

後藤 好邦 氏 (本学非常勤講師、山形市健康医療部健康増進課長)

【内容】各講師講演、パネルディスカッション『社会人の学び直し』を通して、学び続ける私になるために」

<お問い合わせ先>

尚綱学院大学 教育研究支援課

(大学広報室) 清野 正恵

TEL: 022-381-3501 Email: ksien@shokei.ac.jp

<本件担当者>

尚綱学院大学 交流推進課

担当: 佐藤 司

電話: 022-381-3315 Mail: koryu@shokei.ac.jp

これから学び直しを始めたあなたへ



尚綱学院大学地域連携センター公開シンポジウム

社会人の学び直し ～学び続ける私に～

2024. 2. 25 日 13:30-16:30
(13:00開場)

仙台市中小企業活性化センター/セミナールーム (2) B
仙台市青葉区中央1-3-1 AER6階

高谷 将宏 氏

本学客員准教授
株式会社エヌエスシー
常務取締役



学び直しのキーワード
ラーニング
コンパス

高山 香織 氏

本学客員講師
アナウンサー、ナレーター、
司会、面接指導



学び直しのキーワード
一期一会

後藤 好邦 氏

本学非常勤講師
山形市健康医療部
健康増進課長



学び直しのキーワード
越境

本シンポジウムは、変化の激しい時代を生き抜く実力を身に付け、東北の力となる人材を養成する本学が、社会的なテーマについて考える機会として、地域連携センター発足に伴い、今年度新たに実施するものです。今年度は、昨年「リスキリング」や「アップスキリング」等、話題となっている「リカレント教育」全般としての「社会人の学び直し」をテーマとして、様々な形で実践されている3名の講師をお招きして行います。社会人の方で、学び直しを実践されている方のみならず、学び直しを検討している方を対象としています。皆さまのご参加をお待ちしております。

タイムスケジュール

- 13:00 開場・受付開始
- 13:30 開会・挨拶
- 13:40 講演① 高谷 将宏 氏
- 14:10 講演② 高山 香織 氏
- 14:40 講演③ 後藤 好邦 氏
- 15:10 休憩
- 15:20 パネルディスカッション
『「社会人の学び直し」を通して、学び続ける私になるために』
- 16:20 挨拶
- 16:30 閉会

開催概要

- 【定員】50名(応募多数の場合は抽選)
- 【対象】学び直しを検討している社会人を中心に、職業・年齢・性別不問。
- 【参加費】無料
- 【申込方法】右の二次元コード又は下のURLのリンク先の申込フォームにて、必要事項を2月16日(金)17時までに入力してお申し込みください。申込多数の場合は、抽選となります。予めご了承ください。
- <https://forms.office.com/r/2zx8vLhEp7>



高谷 将宏 氏

本学客員准教授
株式会社エヌエスシー常務取締役

博士(教育情報学)。事業構想大学院大学特任教授、東北大学大学院情報科学研究科非常勤講師。(一社)仙台eスポーツ協会共同代表理事。高等学校教諭、日本私学教育研究所委託研究員を経て、仙台拠点のSler株式会社エヌエスシーにて常務取締役。大学や専修学校の外部評価委員、教育課程編成委員などを務める。デジタル人材育成学会副会長。数理・情報系を専門としない人材へのリテラシーレベルでのアプローチを得意とする。東北大学大学院修了。仙台市出身。

【所属学会】デジタル人材育成学会、日本情報教育学会、AI時代の教育学会、現代経営研究学会

【専門】データサイエンス、質的研究、AIリテラシー、授業評価、数学教育

高山 香織 氏

本学客員講師
アナウンサー、ナレーター、
司会、面接指導

大学卒業後、名古屋テレビアナウンス部に就職。フリー転身後、宮城県に拠点をうつし、現在に至るまで東日本放送と山形テレビでニュースキャスターを歴任。震災後は河北新報社と共に「今できることプロジェクト」を進め、ミヤギテレビで復興番組を持つなど震災復興に尽力。2020年には尚綱学院大学客員講師に就任し、教職採用・就職の面接指導に携わる。また、県知事や市長を招いたイベントの司会進行も担当。仙台市長杯 フィギュアスケート大会では羽生結弦氏の登場シーンを盛り上げるなど、大会の開始以来6大会連続で司会を務める。ナレーターでは2010年より企業CMや県政広報、高校・大学HP、ベガルタ仙台の番組などで起用。2020年よりアイリスオーヤマのECサイトにおいて数多くの商品ナレーションを担当中。

後藤 好邦 氏

本学非常勤講師
山形市健康医療部健康増進課長

1972年生まれ。1994年に山形市役所入庁。納税課、高齢福祉課、体育振興課冬季国体室、企画調整課、都市政策課、行革推進課、企画調整課、社会教育青少年課を経て現職。2009年6月に岩手県北上市の職員らと共に「東北まちづくりオフサイトミーティング」を発足し、人・組織・地域・いろいろなものを繋ぎ、東北、そして日本を元気にするための活動を実践中。2015年4月からは、月刊ガバナンスにて『後藤式』知域に飛び出す公務員ライフ』を連載中。東北公益文科大学大学院博士後期課程に在籍。著書に「自治体職員をどう生きるか」「『知域』に一步飛び出そう！ネットワークでひろがる公務員ライフ」。

尚綱学院大学地域連携センター

本センターは、宮城・東北をもっと元気にする全国随一の大学を目指すという本学の地域連携方針に基づき、自治体、企業、他大学等と連携及び協働し、地域の未来を創出する人材の育成並びに、大学の総合的なリソースを地域に還元し、地域社会の発展に貢献すると共に、本学の教育研究の充実発展並びに教育研究の目的達成に資するべく、次の事業を行っています。

- ・協定連携協力事業：協定に基づく自治体・企業等との連携・協力による地域の活性化のための事業に関する事。
- ・知識基盤形成事業：世代を超えた「知識の共通基盤」としての生涯学習事業に関する事。
- ・スポーツ交流事業：スポーツを通じた多世代間交流を促進する総合型地域スポーツクラブ事業に関する事。
- ・地域連携拠点事業：アウトリーチ拠点としてのサテライトキャンパス事業に関する事。
- ・情報収集発信事業：地域連携に関する情報収集及び発信に関する事。
- ・地域活性推進事業：その他本学の地域連携の推進のために必要なこと。

【今年度の主な取組】

- ・協定連携プロジェクト「地域経済活性化・デジタル人材育成プログラム」
- ・宮城県委託事業「放課後児童のスポーツ機会創出事業」実施
- ・地域活性プロジェクト・ブラジル野菜「ビキーニョ」レシピ開発等
- ・名取市DX推進室主催「高齢者向けeスポーツ体験会」学生参画
- ・名取市包括連携団体コラボ企画「Mix名取フェスタ2023」出展
- ・名取市立ゆりが丘小学校「もっとなかよし町探検」受入
- ・尚綱オープンユニバーシティ各種講座開講、尚綱学院大学総合型地域スポーツクラブ「絆・KIZUNA」各種教室活動実施 他



本学におけるリカレント教育推進に係る方針

尚綱学院大学は、第4次中期計画や地域連携方針にリカレント教育を位置付けるとともに、本学の強み・リソース及び地域社会等からのニーズを踏まえ、「リスキリング※1」や「アップスキリング※2」等の「リカレント教育※3」について、次のようなテーマ・分野を選定しています。今後は、このテーマ・分野の下、社会人の学び直しの機会の提供を推進していきます。

- A. 自己・他者
- B. 健康・福祉
- C. 心理・教育
- D. 地域・国際
- E. 共生・環境
- F. 文化・芸術・スポーツ

※1「リスキリング」：時代のニーズに即して職業上新たに求められる能力・スキルを身に付けること。
 ※2「アップスキリング」：現在の職務を遂行する上で求められる能力・スキルを追加的に身に付けること。
 ※3「リカレント教育」：社会変化への対応や自己実現を図るための社会人の学び直し全般。

